

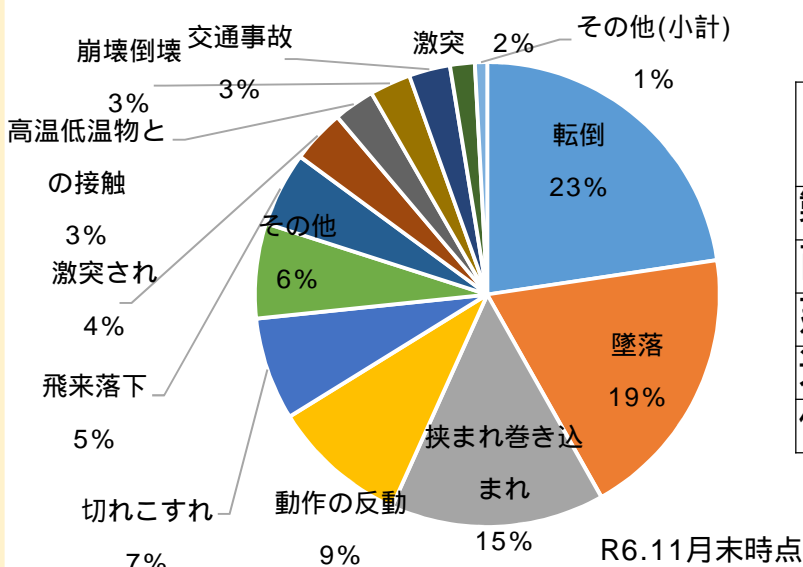
高岡労働基準監督署からの 緊急警報発令中！

高岡労働基準監督署管内では、令和6年1月から11月末時点の労働災害による死亡者数は、**建設業のみで4名**となっており、**県内の監督署の中で最多の死亡者数**となっています。また、製造業における令和6年1月から11月末までの休業4日以上の死傷者数は、108名となっており、昨年同期と比較すると19名増加しています。

令和6年に発生した高岡署管内の死亡災害事例

番号	発生年月 業種	事故の型 起因物	発生状況
	R6.1 その他の 建設業	はさまれ・巻き込まれ 高所作業車	プレス機設置工事において、高所作業車のバスケットに搭乗し、床上からの高さ約5mにあるプレスのデッキ下部の塗装工事を行っていたところ、当該デッキとバスケットの手すりに頭部が挟まれたもの。
	R6.6 建築工事業	その他 その他の環境等	事業場敷地内にある資材置場において、貨物自動車に資材を積み込む作業を行っていたところ、蜂に刺されたもの。被災者は病院に搬送されたが、後日アナフィラキシーショックによる死亡が確認されたもの。
	R6.9 建築工事業	墜落 屋根	工場の屋根上において、ポリカーボネート製の部分を踏み抜き墜落したもの。
	R6.10 土木工事業	墜落 基礎工事用機械	杭打機のアタッチメントを取り外すために、当該機械の本体に上り、ボルトを取り外していたところ、バランスを崩し、高さ約1.9mの個所から地面に墜落し、後日死亡が確認されたもの。

高岡署管内全業種事故の型別（左）、上位5業種労働災害発生状況（右）

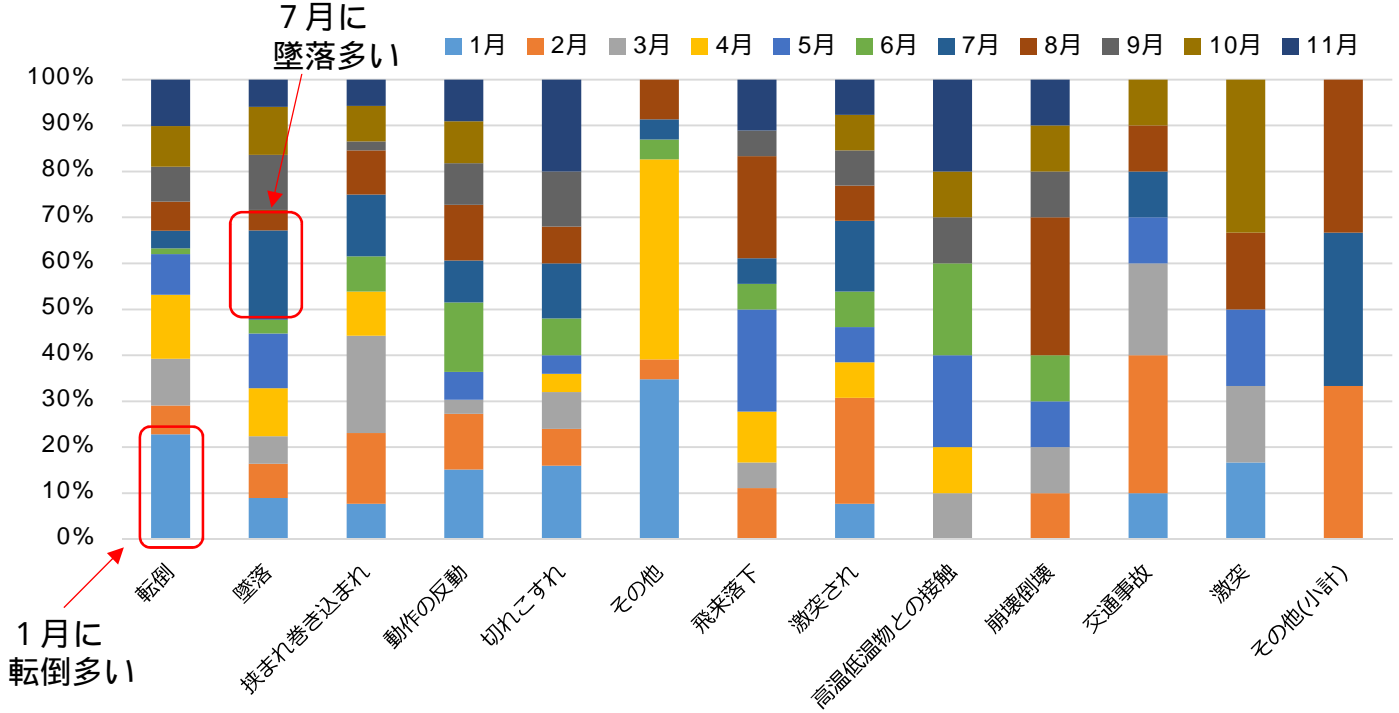


	R6.11月末 時点	前年同期 増減
製造業	108	19
商業	53	10
建設業	50	14
運輸交通業	45	0
保健衛生業	42	22

転倒災害が**最多**となっています！
2番目の墜落災害は建設業だけではなく製造業でも多くなっています



事故の型別の災害発生月割合



参考 高岡労働基準監督署の取組みの概要

令和6年4月以降の災害復旧工事パトロールの状況や要請、その他労働災害防止のために当署において作成したリーフレットを富山労働局のホームページに掲載していますので、参考にしてください。

当署の取組みの掲載場所は、

富山労働局 > ニュース&トピックス > 労働基準監督署からのお知らせ > 高岡労働基準監督署からのお知らせ



参考② 「冬季無災害運動」

富山県内においては、冬季に路面の凍結による「転倒」などの労働災害のリスクが高まります。上記「事故の型別の災害発生月割合」のとおり、**1月が特に転倒災害が多くなる傾向となっています。**令和6年度も富山労働局が策定した実施要綱に基づき、「冬季無災害運動」を実施しています。

冬季における労働災害防止対策の徹底をお願いします。

詳細は
こちら→



事前の労働災害防止の取組みを行い、労使一丸となって、死亡災害を無くし、安全という名の虹をかけましょう！
高岡労働基準監督署長

